

『岩倉街道』

今月は名鉄犬山線「中小田井」駅の目の前に続く、『岩倉街道』の町並みをご紹介します！
 中小田井はさかのぼると、平安時代から集落があった歴史ある土地だそうです。
 江戸時代の寛文7(1667)年に名古屋城下から岩倉方面へ至る旧岩倉街道へと道が続き、
 枇杷島の青物市場への流通路として賑わうようになります。そして、市場の帰りに味噌・醤油・
 米・油などの生活用品を買っていく人が増えたことにより、街道沿いに商家が立ち並ぶよう
 になりました。現在は1891(明治24)年の濃尾地震以降の建物のみが残っており、1988(昭和
 62)年に名古屋の町並み保存地区に指定されています。家屋が街道に直接面しており、平
 入り(棟の長辺側)・中二階・連子格子を残した伝統的な町並みは今に残る貴重な景観です。
 街道を歩いていると何とも風情のある独特な雰囲気があり、自分がタイムスリップしたかの
 ような感覚を味わうことができます。普段は人通りも多くはないので、ノスタルジックな気分
 にどっぷり浸ることもできますよ^^
 そのまま進んでいくと、この辺りで一番大きなお寺の『善光寺別院 願王寺』に到着します。
 創建は829(天長6)年、その後、明治時代に長野の善光寺より善光寺如来を勧請し、1929
 (昭和2)年に本堂が建立されました。ご本尊の薬師如来は、咳・ぜんそく・胸の病封じの善光寺
 へちま薬師として、古くから多くの参拝者を集めています。
 入口にハルハルバン守護神像やカルダ像、門の左右には金剛力士像があり、大変立派です。
 本堂はガラス張りで、近代的なその姿は、とても珍しいので一見の価値ありです！
 また、敷地内にある『明光閣』と表札の掛った立派な建物は、中小田井の町並み保存地区の中
 にあった“旧平手邸”を移築し、現在は書院として法事など多目的に利用できるように一般に開放
 されています。
 境内で毎年9月中旬ごろに開催される“おてやあ〜祭”は屋台の他にも、特設ステージが設けられ、
 舞踊やバンドの演奏が1日中催され、夜には月明かりに照らされながらの本格的ジャズライブを
 堪能することができます。今年を逃した方はぜひ来年足を運んでみて下さい♪

R みんなでつくる の広場

駅のむこうがわ

街をより身近に感じられるように電車で各駅を訪れ、改札の向こうがわの素敵な場所を皆様と一緒させて頂きます。

